

## 参考資料

本日(12月7日)、本内容に関し、大分県政記者クラブに対して、15:30資料配布、16:00記者会見を実施しておりますので、ご参考までにお知らせいたします。

2009年12月7日  
住友化学株式会社

### 大分県における農業法人設立について

住友化学は、当社100%子会社である大分ゼネラルサービス株式会社（以下、「大分ゼネラルサービス」）および日本エコアグロ株式会社（以下、「日本エコアグロ」）とともに、農業法人「株式会社住化ファームおおいた」（仮称）（以下、「住化ファームおおいた」）を、大分県豊後大野市に設立することといたしました。新会社は、本年5月に設立したイチゴ栽培を行う農業法人「株式会社住化ファーム長野」に続き、住友化学グループの農薬、肥料、灌水チューブ、農業用ポリオレフィンなどの農業関連製品を用いて、高品質のトマトを栽培いたします。生産されたトマトは「日本エコアグロ」を通じて販売いたします。

「住化ファームおおいた」（仮称）の設立に当たっては、大分県ならびに豊後大野市の協力を得て農場候補地の選定を行い、同市内の耕作放棄地等を活用する予定です。また、地権者と「住化ファームおおいた」（仮称）で締結する土地の賃借契約につきましては、改正農地法施行後に締結を予定しており、改正農地法の第一号案件になる見込みです。

住友化学は、グループ企業も含め農業関連製品やサービスを幅広く取り扱っています。安全安心で効率的な農業生産を総合的に支援する「トータル・ソリューション・プロバイダー」ビジネスを展開しており、近年ニーズが高まりつつあるIPM（Integrated Pest Management：総合的病害虫管理）やICM（Integrated Crop Management：総合的作物管理）の観点などもふまえながら、農業関連事業の強化・拡大に取り組んでいます。

住友化学は、設立する「住化ファームおおいた」（仮称）を、「日本エコアグロ」が販売する農産物の生産拠点の一つと位置づけブランド構築を図っていきます。また、自ら農業法人を設立・運営することで得られる栽培技術や農業経営のノウハウなど各種営農技術を蓄積するとともに、蓄積した営農技術を生産者や生産団体、自治体等の関係各方面と協力して国内各地に横展開することで地域農業の活性化に貢献していく予定です。

#### <新会社の概要（予定）>

- |           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 1. 社名     | 株式会社住化ファームおおいた（仮称）               |
| 2. 所在地    | 大分県豊後大野市                         |
| 3. 資本金    | 300百万円                           |
| 4. 出資比率   | 住友化学37% 大分ゼネラルサービス53% 日本エコアグロ10% |
| 5. 社長     | 貫 和之（住友化学アグロ事業部長）                |
| 6. 借地面積   | 1.76ha（うち耕作放棄地活用 1.06ha）         |
| 7. 施設面積   | 1ha（10,000m <sup>2</sup> ）       |
| 8. 栽培作物   | トマト等                             |
| 9. 栽培システム | 隔離土耕等                            |
|           | 以上                               |

#### <問い合わせ先>

住友化学株式会社コーポレートコミュニケーション部 TEL：03-5543-5102